



平成30年度

田園自然再生活動

の集い

～ともに学び、成長する（育つ）場としての田園空間～

子どもだけでなく大人も、また、農村だけでなく都市の住民も、更には人間だけでなく、生きものすべてが自然再生活動を通じて、ともに育つ大切な場所として農村環境の魅力とその可能性について考えます。

平成30年12月10日(月)13:00～17:15 (受付開始:12:00)

会場：東京大学 弥生講堂 一条ホール
(東京都文京区弥生 1-1-1)

主催 (一社) 地域環境資源センター
田園自然再生活動協議会

後援 農林水産省、環境省、
(申請中) 全国農村振興技術連盟、(公社) 農業農村工学会、(一財) 日本グラウンドワーク協会

農村では、農業の営みを通じて田んぼや水路、ため池などにさまざまな生きものが育まれ、自然豊かな環境が形成されてきました。こうした農業・農村のもつ豊かな自然環境の保全・再生を図るために地域が一体となって取り組んでいる「田園自然再生活動」を通じて、学び、育つ、農村環境の魅力を再認識し、相互に交流を深め、活動の継続、充実や拡大を図ることを目指します。

田園自然再生活動の集い ～ともに学び、成長する（育つ）場としての田園空間～

日時 2018年12月10日（月）13：00～17：15（受付開始：12：00）
会場 東京大学 弥生講堂（一条ホール）（東京都文京区弥生1-1-1）
対象 自然と共生する農村づくり「田園自然再生活動」に関心のある個人・団体
参加費 無料 ※交流会への参加を希望される方は3千円。
定員 130名 ※参加には事前のお申込みが必要です。

プログラム（予定）

13：00 開会 中村 桂子（田園自然再生活動協議会 会長）
13：05 来賓挨拶 農林水産省、環境省
13：20 講演 荘林 幹太郎（学習院女子大学 副学長）
13：50 講演 片岡 美喜（高崎経済大学 教授）
14：40 オリエンテーション
15：00 パネルディスカッション
コーディネーター：荘林 幹太郎
コメンター：中村 桂子
パネラー：片岡 美喜
：吉野 奈保子（東京・NPO 法人共存の森ネットワーク 事務局長）
：林 千智（三重・多気町立勢和図書館 司書）
：加藤 辰雄（愛知・榎前環境保全会 代表）
17：00 2018宣言
17：15 閉会
17：30 交流会（東京大学弥生講堂内 ホワイエ）



東京大学 弥生講堂 一条ホール
住所) 東京都文京区弥生 1-1-1
東京大学弥生キャンパス内
TEL) 03-5841-8205
東京メトロ 東大前駅 (南北線) 徒歩1分
東京メトロ 根津駅 (千代田線) 徒歩8分

FAX : 03-3432-0743 E-mail : denen-saisei@jarus.or.jp

平成30年度 田園自然再生活動の集い

※FAX、Eメール、郵便のいずれかで参加申込書を事務局にお送りください。
※定員になり次第、締め切らせていただきます。(最終締切日は12月5日(水))
※複数で申し込まれる場合は、参加者全員のお名前と代表者(①)の連絡先をご記入ください。
※申込みのためお知らせいただいた個人情報は、本事業の連絡以外には使用いたしません。
※農業農村工学会技術者継続教育機構認定プログラム(CPD)申請中

参加申込書

所属機関 / 団体名

①参加者名 (ふりがな)

②参加者名 (ふりがな)

連絡先 勤務先・自宅 (該当する方を○で囲んでください)

住所 (〒)

TEL

FAX

E-mail

当日会場にて団体や活動の案内パンフレット等の設置 希望する 希望しない

交流会の参加 (当日会場にて3千円申し受けます) 希望する (名) 希望しない

問合せ
申込先

(一社) 地域環境資源センター 農村環境部内 田園自然再生活動事務局
〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4 農業土木会館 6階 TEL:03-5425-2461 FAX:03-3432-0743
E-mail: denen-saisei@jarus.or.jp URL: http://www.jarus.or.jp/